

FOCUS

追いかける。大学生。

国立大学への就職

身近なところへのアプローチ

大学生にとって一番身近な機関である、大学。だが、「大学」が就職先の一つとして考えられることはあまりない。これまで盲点となっていた大学への就職も視野に入れてみてはどうだろうか。その実情を追った。

○平成 23 年度採用の流れ

- ・ **第一次試験** 5月15日
 - <受付期間 4月1日～4月8日の1週間>
 - 同時刻、同一問題で全国7地区において一斉実施
 - ・ **地区別採用**：近畿地区での受験→合格→近畿地区内の機関に採用
 - ※ 複数地区での受験は不可
 - ・ **第二次試験** (7月初旬以降)
- ⇒内定！！

○福利厚生

- ・ 文部科学省共済組合：健康保険、年金
- ・ 育児休業制度 (最長3年)
- ・ 宿舍：独身、世帯宿舍
- ・ 豊富な施設：テニスコート、体育館

告知：日経就職ナビ

「機械、電気・電子、情報系学生のための Career Forum」

11月23日(火・祝) 11:00～17:00

@ インテックス大阪

◇連絡先

近畿地区国立大学法人等
職員統一採用試験事務局

TEL：075(753)2228
HP：http://www.kyoto-u.ac.jp/siken/

○法人化以前の相違点

法人化以前の国立大学は国の一機関だったため、色々な面で国からの指導・規制があり、大学が自由に物事を考えることができなかった。しかし、法人化以後は、国からの指導・規制から離れ、大学が自由に物事を決めることができるようになった。法人化以前に引き続き、現在も文部科学省共済組合に加入しており、福利厚生については法人化以前とほぼ変わらず、現公務員のような待遇が受けられる。試験日程は、国家公務員Ⅱ種試験より1ヶ月ほど早く行われている。採用規模は法人化以前と同規模である。

学生から職員へ

○近年の志願者の傾向

平成20年度より志願者数は毎年1000人程度ずつ増えている。最長3年の育児休業を取得できることから、女性にも働きやすい職場であり、合格者数の4割は女性が占めている。

○出身大学へのリターン就職

母校で仕事をしたいという理由で志願する者も増えている。ただし、採用の際に出身大学の学生が優先されるといふことはない。

○人事異動

原則的に採用機関内で、おおむね2、3年ごとに部署異動がある。そのため、新しいことを常に取り入れ、勉強する姿勢が大切になる。

○求める人材

前向きに、積極的に取り組める人。法人化以前のマニュアルに沿った仕事だけではなく、自ら企画・立案することがより必要になったので、言われた通りではなく、経営感覚をもって動ける人材が求められる。



説明会の様子 (提供写真)

UNN 関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>
 ■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9 駅前ビル5F
 (TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6307-1316 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは

神戸大学ニューズネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです